

山行報告 ; 鹿島槍ヶ岳

2012年 4月 27日~29日

メンバー; 迫 (単独)

残雪期山行

直前になり、2名に振られ独りで行くこととなる。

天気予報では、27日はあまりよくないが、翌日からは晴れの予報。

あまり暑いのも雪崩の危険で不安もあるが、とりあえず現地まで行くこととする。

先週は八方で滑って2週続けての山域である。片道3.5時間は近い。

今年は雪が多く雪崩が気になる場所、また、ルートには、2箇所クライミング箇所があるためGWは渋滞することがあると書かれているので、GWの1日早く入ることとした。(しかしこれが裏目に・・・)

26日; 20:00 アパート発

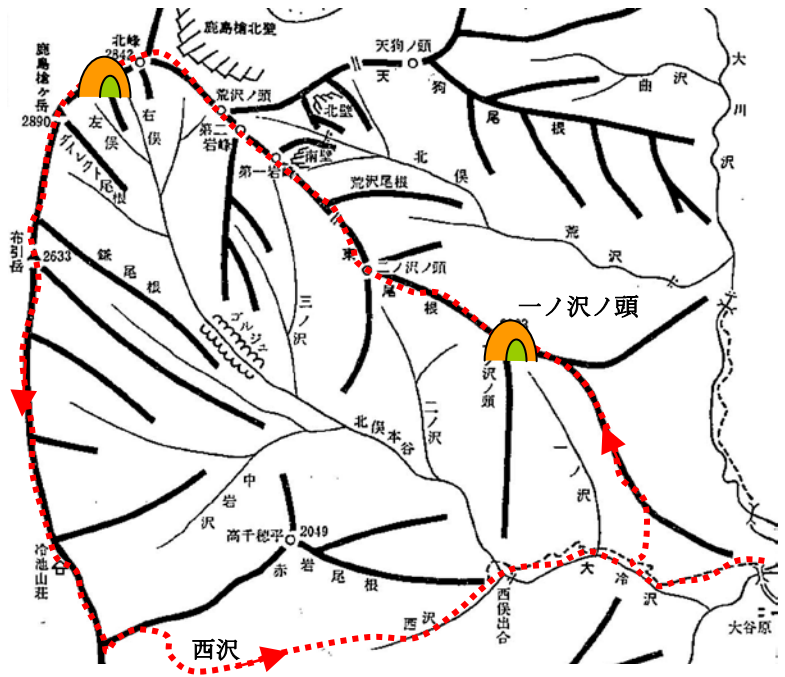
買出しして大谷原着が11:30 早い。

仮眠。外は雨。

27日; 5:30 起床→6:30 出発

雲低い、霧雨状態

取付き点、看板、赤布多数、踏み跡ありで迷うことはない。



雪が多いため、直ぐに残雪歩きとなる。稜線までは直登。

稜線でても真直ぐ、巨木の間を縫って登る。が、

踏み抜き多い。先週のものと思われるトレースはあるが、そこでも踏み抜く。渋滞を避けて早く入ったことが、裏目に出た。。明日以降入山の人には楽だろう。

8:25 一本取る。遠くで雷! ? と思ったが、どうやら雪崩の音・・・

この稜線は、巨木が多く木々がさまざまな生き方しているようで素晴らしい。

9:20 (alt1640) ガスっているが、明るくまぶしい。

10:10 (alt1780) 右からの尾根と合流。下層の雲の上にてた。まぶしい。

あちこちから雪崩の轟音が響いている。

11:23 (alt1955) かなり雪が割れている箇所がある。雪が柔らかく、また、踏み抜きが多いためかなり疲労する。雲が早い。

12:05 少し時間がかかったが、一ノ沢ノ頭 着雲の中だけど暑い。雲が早く、鹿島槍、爺が岳が見え隠れする。



二ノ沢ノ頭までの予定であるが、この先稜線が狭く、雲もあり、雪も不安定なので、朝イチで硬いときに進むこととする。

ってことで、早くもテント設営。これが今日の我が城・・・

しかし、気温高く、どんどん溶けて崩れていく。う～～。

雲が早く、一瞬切れる。左手には・・・おおおお～～～爺が岳！



素晴らしい。展望。

しばらくすると、前方の

雲も少しの間切れた。

目の前に鹿島槍の双耳峰がそびえる。

チョット待て、アレを独りで登るのか・・・



早々にカレー＋ワインで、大町の夜景を着に飲んで早く寝る。



28日 4:15 起床 緊張のあまり唾液がでず、パスタが喉を通らない。流し込む。

5:50 発 快晴無風、最高の山日和。。。いや、暑すぎ！ 集中、気合だ～～。

7:16 二ノ沢ノ頭 alt2125(map2177)

ここまでも核心かと思われるところが3箇所。かなり崩れていて、独りのビレーなしでは、ちょっと厳しい。朝なのでまだ硬く、アイゼンが効くがそれでもグズグズで崩れる。

ここで、装備をつける。風が出てきた。

7:45 両腕がつる。

8:50 (alt2285) 1本 取る。4人組が一ノ沢ノ頭に見える。早い・・・私の踏み跡のおかげ？

10:45 (alt2385) 第1岩峰の下のテン場、ここまでもかなりシンドイ。

ステップも無く、全て自分で足下固めて両手、両足で攀じ登る。雪はグズグズ、亀裂の乗越しは非常に怖いし、厳しい。が、上を見て進むしかない。両腕が攣る。

第1岩峰は、下半分の岩場でロープを出す。残置ハーケン1つ+ザックを支点にして1ピッチ登り、はい松で支点、フィックスを作って懸垂下降。荷物背負って、ロープマン使って登り返す。

あっ、サングラスをシュルンドに落としてしまった。まだそんなに使っていないのに。。。

既に見えず、拾うわけにもいかず。。。
残置・・・高い残置になってしまった。
誰か拾って。

その上の残雪部・・・

ノーロープで行ける。と判断したが、ナカナカこれが厳しい。

雪はグズグズ、亀裂はあるし、踏み抜くし。。傾斜は古賀志3級ルート位か。

ピッケル刺しても全く効かない、効くところまで何度も刺しているうちに腕が攣る。

やっとの思いで第1岩峰を抜けたあたりでは、さっきの4人組みが取付きまで来ている。

やっば、踏み跡があると早い。オレの踏み跡だぞ～～

14:40 (alt2580) 第2岩峰取付き。ここまで休憩なし。っていうか、休めるところが全くない。

全部、自分で踏んでステップづくり、両手、両足で登っていく。なかなかこんな経験は無い。

しかし、ステップが崩れたら終わり。慎重以上に慎重になってしまい、非常に時間がかかる。

亀裂を迂回したり、乗越したり。 ということで、この間の写真は全くない・・・

ここで、さっきの4人組みに追いつかれた。。残念。でも、この人たち早い。

2パーティの4人組み。(横浜の人らしい)

自分が先頭に行こうかと思っていたが、ザック置いての往復になるので時間がかかってしまう。

う～～ん、結局、自分のロープを4人のトップの人に引っ張って上がってもらい、フィックスしてそれをロープマンで上ることとした。が、30mでは半分までしかないの、途中まで同時に登る。

まあ、核心のカブリ気味の所までは、難なく登れるが、その核心・・・全装備でしかも両腕が攣っていて力が入らず・・・すみません。。引っ張ってもらってしまった。。ありがとうございます。情けない・・・

まあ、混んでなければ、空身で上がって、荷物は引き上げてって考えていたので。。

まあ、仕方ない。。時間が足りない。

写真は他のHPから。

この後、北峰山頂までは、4人組みのうちの2人パーティーに前を行ってもらっちゃいました・・・すみません、

すんごく楽しんでしまいました。。。情けない。

やっぱり人って弱いです。一度楽を覚えちゃうと・・・

しかし、時間は既に16:00を回っている。

さっき見えていた頂は山頂ではないようだ・・・



17:40 北峰(alt2790) 着 日が傾きかけている。

やっぱり展望は素晴らしい。

目の前には南峰。左には爺が岳、
遠方には、槍ヶ岳～奥穂、そして
剣岳。さらには、杓子岳に白馬岳。
これだから止められません。

18:30 冷池山荘までとどかず。

南峰と北峰の間のコルにテント設営。

久しぶりに12時間越えの行動。

水を作るが、食欲が沸かず、スープ
類と、カレーもご飯が半分のみしか
喉を通らなかった。

夜は大町の夜景がきれいだったが、
風が強く、寝付けない。

しかし、ワインは美味かった。。。。

予定では、今日の内に下山予定だったが、かなりの時間を要してしまったため、1泊追加。

携帯で北さんに一応連絡メール入れる。(時折つながるようだ)



29日 5:00 今日は下山のみなので、少しゆっくり。

風は収まらず。が、それほど強いわけではなさそうだ。

ラーメンを強制的に流し込む。

7:30 発 第2岩峰で順番待ちで、登れずそこで泊まった3人パーティーが見えた。

歩き始めて直ぐに、腹が・・・ググッてきた。

やばいっす。たまらず、荷物を降ろして・・・

南峰の登りも傾斜はあるが難しくないようだが、
アイゼンが効くのか効かないのか良く分からん。

慎重になっていると、4人パーティーが直ぐ後ろに迫る。

山頂には冷池山荘からの登山者が既にいる・・・許せん！

8:10 南峰 着 素晴らしい 360度の展望。

これだから止められない。



9:08 布引き岳 鎌尾根というところを登ってきた5人組みがいた。最後に雪庇を乗越してきた。すげ～

途中で真っ白な雷鳥が山行を歓迎してくれた。うれしいね～～



手乗り鹿島槍！！お約束。
この右の稜線を登ってきた。
う～～ん、よくまあ独りで。。

10:00 冷池山荘 着 ホットミルク、コココーラ 美味しい。。。人が多い。

10:30 発 赤岩尾根へ。山小屋の人の話では、西沢の出合はやっと雪崩れて、沢が埋って渡れるようだ。西沢への下りは早いですが雪崩の心配はある。が、だいが流れたという話であった。

ということで、赤岩尾根を少し下って、西沢へ。先行する3人パーティーが下るのが見えた。

ひたすら、尻制動（←漢字は合っているか？）シリセード。

早い早い！あっという間に下る。

12:30 西俣の出会い 着。

あとは、林道を下るだけ。

13:42 車に到着。



今回は、GW始まる前に独りで入ったが、グズった雪で、踏み跡を作るのが非常にしんどい。雪壁も独りではなかなか、厳しいものがある。自分なりに経験値は上がったと思うが、まだまだ、メンタル的な成長が足りない。ますます精進すべし。

しかし、雪山は素晴らしい。